平田　要

持続可能な農業の発展に向けて

問 有害鳥獣対策に係るシカ・イノシシの捕獲活動の負担軽減を図るための、個体の処分施設設置の検討状況と計画時期について問う。

答 猟友会による捕獲活動に対する負担も増加していると認識している。捕獲後の個体処分については、先進地視察等を重ね、本町の実情に応じた具体的な処分施設の在り方について検討を進めている。できるだけ早い時期にと考えている。

問 鳥獣被害防止対策の担い手となる人材の育成支援と地域ぐるみの活動を支援する対策強化について問う。

答 狩猟免許取得補助や侵入防止柵設置補助等の支援を行ってきている。引き続き猟友会や地域の方々から意見とニーズを伺い、今後の政策に反映したいと考えている。

問 耕作放棄地の、保全管理の行政指導と農地復元をめざす支援策について問う。

答 農業委員会が農地パトロールを実施し、保全管理ができていないところについて所有者に利用の意向調査による指導を行っている。

耕作放棄地は平成27年度で52haあり、山間部近くの農地についても今後どう利用していくか検討する必要があると考えている。

問 農業や土地利用のあり方から、農業公社の設立に向けた検討状況について問う。

答 農業者の高齢化や担い手不足という状況から、耕作放棄地への対策が必要であり、本町として継続的に農地の適切な保全管理のできる組織の設立を目指している。ただ今は準備をしているところで、令和6・7年あたりに目途をつけたいと考えている。

一般質問

井上　加奈子

一、公園の計画
二、移住促進施策
三、国葬と学校

公園の計画について

問 庁舎跡地等活用基本計画策定事業の進ちょく状況を問う。

答 今年度中の基本計画策定に向けた業務（コンサルティング）発注を行い、関係課で構成する検討会議を立ち上げ、検討を進めている。

問 この機会に、子どもを主体として意見を聞いてみるのはどうか。

答 現時点では庁舎周辺跡地全体をどう活用するかという計画だが、具体的に公園をつくるということになれば、保護者と子どもたちにどんな公園が求められているかニーズ調査をしなければならないと考えている。

移住促進施策について

問 能勢町が選ばれる理由は何だと考えているかを問う。

答 人それぞれ様々な要因があると考えている。

問 ターゲット設定をしているか問う。

答 先の理由を踏まえ、地域企業への就業や起業支援、子育て環境や農のある暮らしの提供等に取り組んでいきたい。

問 全国規模の移住支援団体に加盟すると、イベント開催や情報発信ができるが、加盟していない理由を問う。

答 特に理由はないが、移住を考える際の候補地になるきっかけの必要性を考慮し、そのような動きに改めていきたい。

国葬と学校について

問 9月に行われる国葬儀の際、行政機関と教育現場ではどのような対応をするか。

答 行政は対応しない。教育委員会も学校に対して弔意の表明を求めない。学校も何もしないと認識している。